JISA 経営セミナー(第 2 回)
「Google の挑戦から考える今と未来」開催

平成 28 年 11 月 28 日、東海大学校友会館（霞が関ビル 35 階)において、JISA 経営セミナー(第 2 回)「Google の挑戦から考える今と未来」が開催された。出席者は 109 名。講師は杉原佳堯氏(グーグル株式会社　執行役員)。

冒頭、JISA 小脇一朗副会長･専務理事は､「デジタルビジネス革命はチャンスであり脅威でもある。先頭ランナーの考えを知ることは重要。JISA ではビジネスアナリシス研修コースを 12 月から開講する。是非、活用していただきたい。」と挨拶した。

杉原氏は､「世界中の情報を整理し､世界中の人々がアクセスできて使えるようにする」Google のミッションを紹介した上で、多様化する同社の検索サービスや強みとするオンライン広告のメリット等について概説した。

また、杉原氏自身も注力している Art Project や「Made in Japan：日本の匠」プロジェクト(いずれもオンラインで、美術館等提携先の名画や工芸品が高画質で検索・閲覧できる仕組み)の魅力についても語った。

講演では、生産性や投資目的に関する日米の現状も紹介され、攻めの IT に挑戦するためには、IoT で成功している企業の事例分析が重要と述べた。

さらに､「AI」「ロボット」「機械学習」の領域等を紹介し､「近年、性能の良いコンピュータが安く使えるようになったため、保有できるデータが指数関数的に増加し、AI の活用シーンが増えつつある。Google の AI 戦略は、自分たちのプロダクトに AI を使うこと」と述べた。

講演では、災害対応等､IT で世の中を良くするための同社の様々な取組も紹介された。

(茂木)